

# ◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロン太陽熱高反射率 水性SR-W工法		
◇素地 <sup>注3</sup>	コンクリート, モルタル等の無機系躯体(既存塗膜がない場合) ※外壁専用		
◇使用材料	下塗材 ①	ボンカチオンプライマー	15.0kg
	下塗材 ②	ボンHBサーフェーサーR	16.0kg
	中塗材	ボンフロン水性サンバリア中塗(艶消)	15.0kg
	上塗材	ボンフロン水性サンバリアSR上塗	15.0kg

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 <sup>注1</sup> (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 <sup>注2</sup> (23℃)	施工方法
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。					
1	下塗①	ボンカチオンプライマー <sup>注4</sup>	0	0.10~0.20	1	2h以上 刷毛 ローラー スプレー
2	下塗②	ボンHBサーフェーサーR	2~5 (清水)	0.80~1.20	1	16h以上 砂骨ローラー ローラー
			5~8 (清水)	0.30~0.50		
3	中塗	ボンフロン水性サンバリア中塗(艶消)	0~5 (清水)	0.13~0.18	1	4h以上 刷毛 ローラー スプレー
4	上塗	ボンフロン水性サンバリアSR上塗 <sup>注5</sup>	0~5 (清水)	0.13~0.18	1	— ローラー スプレー

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率 (%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 塗装間隔の時間は、雰囲気<sup>注2</sup>が23℃での結果を記載しております。

従って、実施工においては現地の雰囲気によって変動します。

注3) 適合素地は、打放しコンクリート, モルタル(外装用), 普通PC板で表面のpHが10以下で含水率が10%以下の素地。  
(軽量PC板・押し出し成型板・その他脆弱な素地等の下地調整の工程が別途必要な場合は特殊仕様になります)

注4) ボンカチオンプライマーの所要量は素地の吸い込み状態により変動します。

吸い込みが著しい素地に対しては、一度に塗布せず数回に分けて塗布して下さい。

注5) ボンフロン水性サンバリアSRは、標準所要量を下回りますと意匠的には仕上がりますが、十分な耐久性能並びに耐候性が得られなくなります。

また、低汚染性付与の目的で使用するボンフロン水性サンバリアSRは、通常タイプのボンフロン水性W#1500より造膜までに時間を要しますので、塗装初期の降雨や結露等の水分には曝されないようにして下さい。

※ 水性塗料を使用する際は、低温下の凍結・素地の含有水量・降雨等で造膜不良を生ずる恐れがありますので作業環境には充分注意して作業を行って下さい。

※ 塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点(水性)」を参照ください。